平成 31 年度(令和元年度) 全国学力・学習状況調査 学校の調査結果



令和元年 12 月 海老名市立大谷中学校

平成31年度(令和元年度)

全国学力・学習状況調査について

調査の目的

- (1)義務教育の機会均等とその水準の維持向上の観点から、全国的な児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2)学校における児童生徒への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) そのような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

調査の対象

国・公・私立学校の小学校第6学年、中学校第3学年 原則として全児童生徒

調査内容

(1)教科に関する調査(国語,算数・数学,英語)

出題範囲は、調査する学年の前学年までに含まれる指導事項を原則とし、出題内容は、それぞれの学年・教科に関し、以下のとおりとする。

- ① 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能等
- ② 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力等に関わる内容調査問題では、上記①と②を一体的に問うこととする。
- (2)生活習慣や学習環境等に関する質問紙調査

児童生徒に対する調査	学校に対する調査
学習意欲、学習方法、学習環境、生活の諸側面	指導方法に関する取組や人的・物的な教育条件
等に関する調査	の整備の状況等に関する調査
(例)国語・英語への興味・関心、授業内容の理	(例)授業の改善に関する取組、指導方法の工
解度、読書時間、勉強時間の状況 など	夫、学校運営に関する取組、家庭・地域との
	連携の状況 など

調査実施日

平成 31 年4月 18 日(木)



中学校 国語

出題された調査問題の内容(出題の趣旨)

- ・文章の構成や展開、表現の仕方について、根拠を明確にして自分の考えをもつ
- ・文章の展開に即して情報を整理し、内容を捉える
- ・文章に表れているものの見方や考え方について、自分の考え方をもつ
- ・封筒の書き方を理解して書く
- ・話合いの話題や方向を捉える
- ・相手に分かりやすく伝わる表現について理解する
- 話合いの話題や方向を捉えて自分の考えをもつ
- 書いた文章を読み返し、論の展開にふさわしい語句や文の使い方を検討する
- ・伝えたい事柄について、根拠を明確にして書く
- ・語の一部を省いた表現について、語や文章の中での適切な活用の仕方を理解する

本校の調査結果

◆比較的できている点

- 〇話すこと・聞くことの領域に優れています。特に問題2の設問二で問われた、話合いでの発言について、その立場や意味合いを理解する力に高い成果が見られました。
- ○言語の知識・理解・技能にも優れています。特に問題4で問われた、語の一部を省略した表現について、日常の適切な活用の仕方をよく理解しています。

◆課題のある点

○書く力に課題が見られます。特に問題3で問われた、より分かりやすい文章にするために論の展開にふさわしい言葉に書き加えたり、説得力のある意見文とするために、集めた資料を基に根拠を補ったりする力に課題が見られました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 〇目的に応じて文章を書く機会をさらに増やすとともに、読み返し、表記や語句の用法、叙述の 仕方を自ら確かめる学習活動を強化します。また、書いた文章を互いに読み合い、題材の捉 え方や材料の用い方、根拠の明確さなどについて意見を交換するなど、観点を明確にした交 流の機会を増やします。それにより、読み手にとって分かりやすい表現になっているかという 視点から、自分の文章を検討する姿勢と力を高めていきます。
- ○説得力のある文章を書くために、根拠を明確にして書く学習活動を強化します。課題に沿って、文章や図表などから必要な情報を根拠として取り出し、自分の考えを書く機会を増やします。その際、取り出した情報が、自分の伝えたい事柄の根拠としてふさわしいかを検討するとともに、自分なりの考えも加えるなど、読み手に分かりやすく伝わるよう工夫する姿勢を高めていきます。また、段落構成にも意識を高め、問題や課題を提示する段落、集めた材料を分析する段落、それをもとに自分の考えを述べる段落など、段落の役割を考えながら文章を構成する指導にも力を入れていきます。

中学校 数学

出題された調査問題の内容(出題の趣旨)

- ・数の集合と四則計算の可能性について理解している
- ・簡単な連立二元一次方程式を解くことができる
- ・平行移動の意味を理解している
- ・反比例の表から、x とvの関係を式で表すことができる
- ・簡単な場合について、確率を求めることができる
- ・グラフ上の点 P のy座標と点 Q の y 座標の差を、事象に即して解釈することができる
- ・事象を数学的に解釈し、問題解決の方法を数学的に説明することができる
- ・証明の根拠として用いられている三角形の合同条件を理解している
- ・ 反例の意味を理解している
- ・結論が成り立つための前提を考え、新たな事柄を見いだし、説明することができる
- 資料を整理した表から最頻値を読み取ることができる。
- 資料の傾向を的確に捉え、判断の理由を数学的な表現を用いて説明することができる。
- 問題解決をするためにどのような代表値を用いるべきかを判断することができる。
- 与えられた説明を振り返って考え、式変形の目的を捉えることができる
- ・事柄が成り立つ理由を説明することができる
- ・統合的、発展的に考察し、得られた数学的な結果を事象に即して解釈することができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

○すべての領域において概ね良好な成果が上げられています。特にこの3年間、本校の課題 としてきた「資料の活用」は、全国の正答率と比べても顕著に優位な成果をあげており、転じ て強みとすることができています。

◆課題のある点

○関数領域における数学的な見方・考え方については課題が見られます。特に問題6で問われた、数学的に表現したことを事象に即して解釈すること、課題解決の方法を数学的に説明することに課題が見られます。特に説明については、記述が十分でないための誤答が少なからず見受けられました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 〇日常生活における課題の解決に数学を活用できるよう指導を工夫します。
- ○数式やグラフで表されたことを、生活上の出来事に置き換えて問い、意味合いを具体的に理解できるよう指導を工夫します。
- ○課題解決の方法や手順を説明する場面をより多く設定し、数式やグラフ、表などの「用いるもの」とその「用い方」を明らかにすることができるよう指導を工夫します。その際、「用いるもの」と「用い方」のいずれか一方の説明にとどまらず、両方を指摘し、的確に説明できるよう留意します。

中学校 英語

出題された調査問題の内容(出題の趣旨)

- ・語と語の連結による音変化をとらえて、情報を正確に聞き取ることができる
- ・教室英語を理解して、情報を正確に聞き取ることができる
- ・日常的な話題について、情報を正確に聞き取ることができる
- ・まとまりのある英語を聞いて、話の概要を理解することができる
- ・まとまりのある英語を聞いて、必要な情報を理解することができる
- ・聞いて把握した内容について、適切に応じることができる
- ・日常的な話題について、簡単な語句や文で書かれたものの内容を、正確に読み取ることができる
- ・まとまりのある文章を読んで、話のあらすじを理解することができる
- ・まとまりのある文章を読んで、説明文の大切な部分を理解することができる
- ・書かれた内容に対して、自分の考えを示すことができるよう、話の内容や書き手の意見などをとらえることができる
- ・文の中で適切に接続詞を用いることができる
- ・一般動詞の2人称単数現在時制の疑問文を正確に書くことができる
- ・一般動詞の1人称複数過去時制の肯定文を正確に書くことができる
- ・与えられた情報に基づいて、3人称単数現在時制の肯定文を正確に書くことができる
- ・与えられた情報に基づいて、一般動詞の3人称単数現在時制の否定文を正確に書くことができる
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、文と文のつながりなどに注意してまとまりのある文章を書くことができる
- 月日に関する基本的な表現を理解して、応答することができる。
- ・基本的な文法(現在進行形)を理解して、応答することができる
- ・適切に強勢を置き、交通手段に関する基本的な表現を理解して、応答することができる
- ・聞いて把握した内容について、やり取りすることができる
- ・与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話すことができる

本校の調査結果

◆比較的できている点

〇読むことに優れています。特に問題5(2)で問われた英文を読んで情報を正確に理解する 力、問題7で問われたまとまりのある文章を読んであらすじや大切な部分を理解する力に優れています。

◆課題のある点

○話すことに課題が見られます。特に問題1(1)のカレンダーを見て登場人物の誕生日を答える問いでは、月日の表現そのものの誤りが半数近く見られました。また、問題3の与えられたテーマについて考えを整理し、まとまりのある内容を話す課題では、与えられた条件を満たすことが不十分な解答が半数近く見られました。

今後の具体的な指導改善のポイント

- 〇月日や序数、数字などは基本的な語彙、表現です。例えば日付であれば、授業の冒頭に全員で今日の日付を言わせて終わるのではなく、実際に個別のやり取りをするなかで日付を発話させるなど、多様な場面に応じた活動を工夫します。
- 〇コミュニケーションの目的や場面、状況を意識した具体的な課題を設定し、まとまりのある内容を話す言語活動を増やします。短い準備時間の中で自分の考えを整理し、目的・場面・状況に応じて必要な情報を加えつつ話し続けられることを目指します。

生徒質問紙

学習について

- ※「肯定的な回答」とは、「当てはまる」と「どちらかといえば当てはまる」との合計の意
- ※()内は該当する全国の数値

◆本校のよかったところ

〇総合的な学習の時間における探究学習への取組状況について、肯定的な回答が 79.4% (61.5) ありました。自ら課題を立て、情報を収集し、分析・整理して発表する力を着実に伸ば しています。

◆本校の課題と思われるところ

○特別活動における学級活動、特に話合い活動に課題が見られます。学級生活をよりよくするための話合い活動への取組状況に肯定的な回答は 60.3% (71.6)、話合いを生かした努力目標への取組状況に肯定的な回答は 57.1% (65.6) となっています。

生活について

◆本校のよかったところ

- 〇規範意識が高いです。「学校の規則を守っていますか」の問いに肯定的な回答が 99% (96.2)、「いじめはどんな理由があってもいけない」にも 95.6%(95.1)の回答がありました。
- ○「ものごとを最後までやり遂げてうれしかったことがありますか」の問いに肯定的な回答が 96.7%(93.9)ありました。学校生活への意欲とともに「非認知スキル」が高いと評価できます。 これは学力を押し上げる基盤にもなります。

◆本校の課題と思われるところ

○社会への関心に課題が見られます。「地域や社会をよくするために何をすべきか考えることがありますか」の問いに肯定的な回答は 38.0%(39.4)でした。近年、よりよい社会の創り手となる資質・能力の育成が求められています。社会に関心をもち課題意識をもつことはその基礎となります。

今後の具体的な取組について

- ○学級における話合い活動の充実を図ります。よりよい生活を築くために集団としての意見を まとめたり、生徒たち自らが適切な決まりをつくったりする話合い活動、個人としての問題解 決に向けた目標や方法・内容などを生徒自身で決定するための話合い活動の機会を増やし ていきます。
- ○社会への関心を高めるために、SDGs(Sustainable Development Goals)を軸とした学習や活動を進めます。SDGsは国連加盟国が全会一致で採択した、2030 年までの「持続可能な開発目標」です。17 個の目標(ゴール)が設定されています。各教科の単元や題材と 17 個の目標との関連を分析し、それぞれの目標について教科横断的に学習を深めます。また、総合的な学習の時間における探究学習の課題設定にSDGsを有効に活用します。

ご家庭で取り組んでいただきたいこと

平成31年度(令和元年度)全国学力・学習状況調査の結果の分析より、「ご家庭で取り組んでいただきたい4つの項目」をまとめました。ぜひ、取り組んでみてください。グラフは本校の生徒質問紙の結果です。

生活習慣を整えましよう。

十分な睡眠は翌日の活力や成果の もととなります。寝る時間の目安を 決め、それが習慣として定着するよ う心がけましょう。

2 学習に向かう主体的な姿 勢を高めましょう。

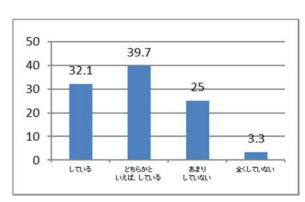
与えられた課題、定められた事柄 に取り組む受け身の姿勢から、自ら 見通しを立て、主体的に学ぶ姿勢を 高めましょう。

3 地域の行事に参加しまし ょう。

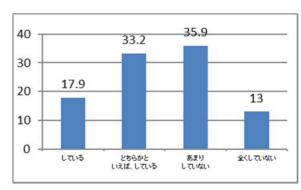
地域の一員という自覚は社会生活 を営む基盤となります。また、災害 等、非常時の助け合いにも、日頃の 人間関係が生きるはずです。

社会や世界の課題につい て家族で話しましょう。

生涯をかけて果たしたい「夢」は 「問い」をもつことから生まれ、そ うした「問い」は、社会や世界に関 心を高めることから生まれると思い ます。



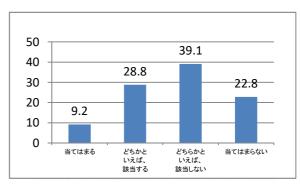
毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか



家で自分で計画を立てて勉強をしていますか



今住んでいる地域の行事に参加していますか



地域や社会をよくするために何をすべきか 考えることがありますか

資料 学習・生活習慣と学力の関係

文部科学省が全国の児童生徒の調査結果を分析したところ、次のようなことがわかりました。海老名市全体の分析でもまったく同じ結果が出ています。

次のような児童生徒ほど、教科の平均正答率が高い傾向にあります。 (教科に関する調査、児童生徒質問紙調査より)

【教科への関心・意欲・態度】

・国語、算数・数学に対する関心・意欲・態度が高い

【学校生活】

- ・学級みんなで協力して何かをやり遂げ うれしかったことがある
- ・先生は、自分のよいところを認めてくれていると思う

【基本的生活習慣】

- ・朝食を毎日食べる
- ・毎日、同じくらいの時刻に寝る

【社会に対する興味・関心】

- ・地域や社会で起こっている問題や出 来事に関心がある
- 新聞を読んでいる
- ・テレビのニュース番組やインターネット のニュースを見る事に関心がある

【家庭学習・読書】

- ・学校の授業時間以外での学習時間が長い
- ・自分で計画を立てて学習をする
- ・学校の宿題、授業の予習・復習をする
- ・読書が好き、読書時間が長い、学校や地域 の図書館に行く頻度が多い

【家庭でのコミュニケーション】

- ・家の人と学校での出来事について話をする
- ・家の人は、授業参観や運動会などの学校 行事に来る

【自尊感情・規範意識】

- ・ものごとを最後までやり遂げて、うれしかっ たことがある
- 学校のきまり、規則を守っている
- ・人の気持ちが分かる人間になりたいと思う

【基本的生活習慣】

・携帯電話やスマートフォンで通話やメール、 インターネットをする時間が短い

結果の公表にあたって

- ○公表は、他市との比較や学校間の比較による優劣を判断するものではありません。 全国的な調査の結果として、分析・考察して、今後の市の施策や学校の指導の改善 に生かすために公表するものです。
- ○公表することによって、保護者や市民の皆様に市や学校の子どもの状況を理解して いただき、改善に向けての取組に協力していただくために公表するものです。
- ○「市の結果」、「他の学校の結果」は市のホームページでもご覧になれます。



海老名市 全国学力



【市の結果についての問い合わせ先】 電話 046-235-4919 海老名市教育委員会教育支援課 指導係